

特集

ご存じですか？

あなたの地域の身近な相談相手

民生委員・児童委員

毎日の暮らしの中で、心配ごとや悩みごとがあっても誰に相談すればよいかかわらず、不安な気持ちでいっぱいになったこと、ありませんか？そんなとき皆さんはどうしていますか？
地域には、困っている人に寄り添う相談役として民生委員・児童委員(以下、民生委員)がいます。
身近な相談相手ですが、なかなか知る機会が少ない民生委員について紹介します。

☎ 地域福祉課福祉総合相談係 ☎26-5424



5月12日(日)は
民生委員・児童委員の日

5月12日(日)~18日(土)は活動
強化週間です。この期間、
民生委員は地域や小学校
などと連携し、見守り活動
などを強化します。

民生委員って どんな人？

「民生委員」。なんとなく聞いたことがある人は多いかもしれませんが、皆さんは民生委員がどんな人で、実際にどんな活動をしているか知っていますか。

民生委員は、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員で、無報酬で地域福祉を支えるボランティアです。本市では約230人が市内14地区に分かれ、高齢者や障がい者、子育てや介護をしているかたなどに声を掛け、日常生活で何か困ったことがないか見守るなどの活動をしています。

また、そのような活動を通じて寄せられるさまざまな相談に応じて、困っているかたが福祉制度や子育てサービスを受けられるように、市役所や地域包括支援センターなどの関係機関へ「つなぐ」役割を担っています。

心配ごと・悩みごと、抱えていませんか？

民生委員は、地域の皆さんが安心して暮らせるように活動しています。

次のようなときは、ぜひ地域の民生委員にご相談ください。

なお、住んでいる地域の民生委員がわからない場合は、

市役所1階地域福祉課福祉総合相談係 ☎26-5424へ問い合わせてください。



▲民生委員・児童委員名簿

暮らしの不安

- ひとり暮らしで、もしものときが不安
- 災害時の避難が不安
- 生活費のこと



子育てのこと

- 相談できる人がいない
- 子育てがうまくいかなくて不安
- 子どもが学校に行きたがらない



介護のこと

- 介護サービスを受けたいけどどこに相談してよいかわからない
- 家族の介護で悩んでいる



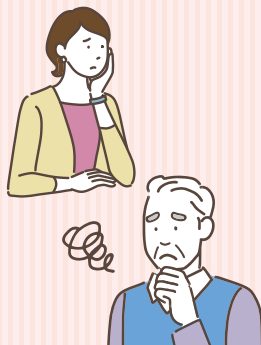
福祉サービスのこと

- 困っているけど相談先がわからない
- 障害者手帳を申請したい
- どんなサービスがあるか知りたい

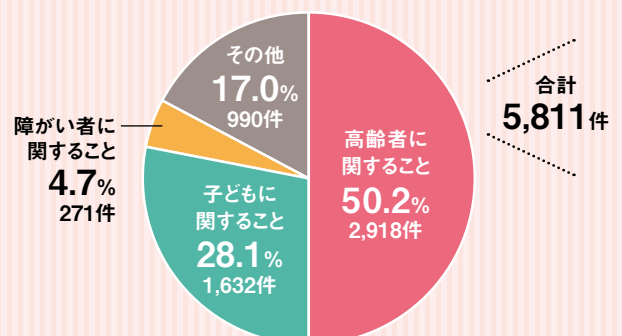


例えばこんな相談がありました

- 家族が亡くなり、ひとり暮らしになった高齢者。生活や悩みに関して相談したい。
- 自身の病気や入院時の不安について。
- ひとり暮らしのお隣さんの姿を最近見かけないので心配だ。



【令和5年度】本市における分野別相談・支援件数



民生委員に活動への思いを聞きました

この地域でいつまでも元気に過ごしてもらいたい



松山地区民生委員
児童委員
三浦 由美さん

自分が長く暮らしてきたこの地域のために何かできないか、そんな思いで日々活動しています。

主な活動として、他の民生委員とともに月に1回ひとり暮らしの高齢者に弁当を届けています。また声かけ隊として毎朝小学生の登校を見守る活動をしています。「ご苦労さん」というねぎらいの言葉や「おはようございます」という子どもたちの笑顔あふれるあいさつから、いつも元気をもらっています。

定期的に地域の皆さんを訪問していると、地域のさまざまな情報を提供してもらうことがあります。また相談してもらったことへの対応が困難な場合は、地域包括支援センターなどにつないでいます。他の民生委員からもアドバイスをもらうなど、日頃から関係機関や地域の皆さんに助けられて活動していると感じます。

地域の皆さんからいつまでも元気に過ごしてもらいたいので、何かあれば遠慮なく、気軽に相談してくださいね。

民生委員の皆さんはこんな活動もしています

ふれあい配食



▲お弁当に絵手紙を添えて、みんなで手渡し配達。顔の見える関係でさりげない見守り活動も

あいさつ運動



▲児童の登校を見守りながら「今日も元気に行ってらっしゃい！」

つくろう会



▲地域の交流イベントを実施。作業に伴い参加者同士の世代を超えた交流が生まれ、気づくと情報交換の場に



子育て応援団「おてつなごう」活動



▲親子でわいわい、すいか割り



▲流しお宝でお菓子や野菜などをキャッチ

お祝いメッセージカード



▲小学校新入生がいる家庭へお届け

民生委員に相談したかたの声



高齢でひとり暮らしのため、何でも話せる人がいるとありがたいです。日々暮らす中で、民生委員さんの顔を見るとホッとします。

アルコール依存症の家族が起こすトラブルに悩んでいましたが、地区の保健師につないでもらい治療に結びつきました。

別居しているひとり暮らしの母と連絡がとれないので心配していましたが、自治会長と一緒に訪問し、無事を確認してもらい安心しました。



生活が苦しいことを相談したところ、生活自立支援センターなどの担当者と一緒に丁寧な話を聞いてくれました。

深刻化するなり手不足

身近で頼りになる民生委員。その定数は、各市区町村の世帯数などに応じて決められますが、本市では特にその充足率が低下しており（本市87・5割、山形県内平均96・1割）、民生委員のなり手不足が深刻な課題となっております。

地元大学生が「民生委員サポーターサークル」を立ち上げました

民生委員不足を何とかしたい！



代表 山口真由さん

名和円さん

東北公益文科大学3年生
民生委員サポーターサークル

昨年参加した市役所でのインターンシップで「民生委員の欠員解消策の提案」に取り組み、民生委員の現状を再認識しました。地域の交流イベントで子どもたちの遊びや学習を見守るなど、民生委員をサポートする活動を重ねる中で、イベント参加者から「楽しかった。また来るね」と喜んでもらったり、民生委員から「とても助かる」と言葉を掛けてもらったりすると、必要とされているんだなど実感します。

このような経験から、民生委員と他の学生ボランティアサークルをつなぎ、より多くの学生から民生委員の活動に参加してもらうため、4月に「民生委員サポーターサークル」を立ち上げました。

今後は自分たちで交流イベントを企画・実施することで、若い世代から民生委員について関心をもってもらうとともに、その存在をより多くのかたから知ってもらいたいと考えています。その結果、地域のつながりの輪が広がり、みんなが安心して暮らせるまちづくりにつながってくれたらうれしいですね。

本市は県内で最も不足しています

あなたも民生委員として一緒に活動してみませんか？

- 専門知識は必要ありません。初めてのかたでも大丈夫です。
- 困っているかたの話に耳を傾け、適切な機関に「つなぐ」役割を担ってもらいます。
- 毎月の定例会で相談や情報交換するほか、研修会で知識を得られます。
- 民生委員の活動は、市と社会福祉協議会などがサポートします。

このまちに笑顔を広げるために

近年、少子高齢化や人口減少などによって地域のつながりが薄れつつある中、心配ごとや悩みごとを周囲に相談できずに孤立してしまうケースが増えています。そのような中で、安心して暮らし続けられる地域になるように、民生委員はこれからも皆さんに寄り添い、日々活動していきます。

もし、心配ごとや悩みごとを抱えていたら、一人で悩まず、民生委員に相談してみませんか。一人では解決することが困難なことも、きっと力になってくれるはずです。

皆さんのご意見を
お寄せください



回答期限
5月20日(月)まで